

# ひだまりの郷だより

## 第28号

発行：社会福祉法人ひだまりの郷あなん  
 阿南学園・サポートセンターひだまり  
 法人本部 〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條726  
 TEL0260-22-2100 FAX0260-22-2101



移転して改築された新しい阿南学園



### 感謝

理事長 三浦忠隆

いつになく寒かった冬を暖かく新しい場所で過ごすことができました。

阿南学園の改築事業は阿南町長のご英断の元、阿南町議会をはじめ、南信州広域連合、地元川田区、家族会等多くの皆様のご理解・ご協力がなければ、成し得なかったことは言うまでもありません。用地交渉や設計に始まり、寒風に晒される時期、猛暑を超えた酷暑の中であっても黙々と作業に従事していただき、細かな要望に対しても快く受け入れてもらい、当初の予定通りに事業を進めて頂いた多くの工事関係者の皆様のご尽力に、改めて感謝申し上げます。

移転に際し、川田区の会合において皆様と話したところ、「人口が減っていく中において、ここに明かりがともる場所が出来ることはいいことだ。」との言葉を頂き、心強くそして嬉しくなりました。

阿南学園が引越した後は、通所事業所の拠点となるべく「サポートセンターひだまり」として、生活介護事業所「なないろ」の開設とグループホーム、放課後等デイサービス「ひなたぼっこ」、就労継続支援B型「阿南町就労支援センター」の機能を統合して、より効率的に運営できるように取り組み始めました。様々な工夫をした空間づくりを行っています。構造上の限界もあるため、この場所の整備については法人としての大きな課題であり、令和4年度より関係機関とともに取り組んでまいります。

阿南学園は64年前に先人の熱い思いが結実し、飯田下伊那の一部事務組合の施設として歩み始め、これまで多くの皆様に支えられながら脈々と受け継がれて現在に至っています。設立の経緯に立ち返り、下伊那南部地区における障害福祉サービスの拠点としての自覚を持ち、法人の基本理念である「一人ひとりが主人公」のもと、「終の棲家」であるか、「一時的な生活の場」であるかは問わず、その時々を利用して頂く皆さんにとって安心・安全でかつ安定した生活や運営が継続できるよう役員と共に努めてまいります。

事業活動計算書		R2.4.1~R3.3.31
サービス活動増減の部	勘定科目	当年度決算
		<b>収益</b> 就労支援事業収益 2,474,290 障害福祉サービス等事業収益 330,459,547 自立支援給付費収益 276,693,570 利用者負担金収益 40,278,810 補給給付費収益 8,409,223 経常経費寄附金収益 200,000 サービス活動収益計(1) 330,326,199 <b>費用</b> 人件費 225,119,784 事業費 50,556,308 事務費 31,707,379 就労支援事業費用 1,880,751 その他費用 0 減価償却費 3,532,327 国庫補助金等特別積立金取り崩し額 △ 2,609,198 サービス活動費用計(2) 310,187,351 サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) 22,946,486
特別増減の部	収益	サービス区分間繰入金収益 38,278,000 特別収益計(8) 38,278,000
	費用	サービス区分間繰入金費用 38,278,000 特別費用計(9) 38,278,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		24,273,845
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	182,264,989
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	206,538,834
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	10,000,000
	その他積立金積立額	10,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		196,538,834

**調理室から**

阿南学園の利用者さんは、食べる事が大好きな方が大勢いらっしゃいます。そんな皆さんの楽しみの一つとなるようなお食事を考え、提供しています。

今年も感染症の流行で、思うように外出もできない一年でした。そんな中でも、春にはお花見、夏には生ビール会や綿菓子・かき氷・たこ焼きなどの出店風おやつ会、秋には各寮ごとの焼き肉会、冬は利用者さんの希望が詰まったクリスマス会を開催しました。

スマス弁当や海鮮丼など、季節ごとの美味しい物を計画してき、毎日の食事では、温冷配膳車の導入により、温かい物は温かく、冷たい物は冷えたまま提供できるようにになりました。

これからも、「美味しかったよ」と言ってお笑顔をを見せていただきますように、お食事を考えてまいります。(栄養士 小島みゆき)



温冷配膳車 焼き肉会

**阿南学園家族会 令和4・5年度 役員**

家族会会長 樋口 昭三氏  
 副会長 原 澄夫氏  
 副会長 澤田 智氏  
 理事 小池 克昭氏  
 理事 後藤 真治氏  
 監事 平沢 謹治氏

吉川 久夫氏  
 久保田 悦子氏  
 松下 隆康氏  
 松下 隆康氏

阿南学園移設新築祝賀記念カレンダーを制作しました。身近に置いて、ちよつと明るい、ちよつと楽しい日々を過ごして頂けたら幸いです。

### お悔やみ

中山修さんが令和3年12月6日に逝去されました。中山さんは平成31年3月に入所された阿南学園で生活された3ヶ月間、シャイな方で、なかなか気持ちを素直に伝えては下さいませんでした。が、本当に嬉しい時は、恥ずかしくないような表情ながらも、さわやかな笑顔で気持ちを伝えてくれたことを覚えております。

阿南学園で多くの思い出をありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。(小林卓也)

**栗畑勝宏さんの思い出**

「見る？」と笑いながら夜勤職員に自分の持っている雑誌を貸して下さった栗畑さん。

飲みたい物を尋ねると「コーラ」と元気に返事をされた栗畑さん。他利用者さんに声をかけながら一緒に散歩をして下さる栗畑さん。優しく、面倒見が良く、笑顔の素敵な栗畑さんはいつもたくさんの人に囲まれて過ごしておられました。

### 新しく入所された利用者さん

1月21日から入所された寺平 徹さんです。職員に会うと「今日もお会いします。」と穏やかに挨拶をして下さいます。これから楽しい思い出と一緒にたくさん作っていきたいと思います。ご本人から一言いただきました。「よろしくお願ひします。」

### 編集後記

新しい家が出来上がりました。12月に43年の感謝を込めて旧学園とお別れし、暖かいお家で、わくわくした春に出会えそうです。地域の皆さんありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願ひします。感染症が落ち着きましたら是非、お出かけください。

**退職ご当りの**

あつという間の30年間でした。これまでの事を振り返ると大勢の利用者さんの顔を思い浮かべます。入職当時、90名の利用者さんが家族と暮らさずにいる事に驚きました。一緒にご飯を食べ、旅行に行き寝泊りをして、作業や余暇など過ごす時間が長く、家族のように接し、分け隔てなくいつも声をかけてくれ、私の存在を認め、受け入れてくれました。

利用者さんたちの優しさに感謝です。(令和4年3月31日付退職)

佐々木貴子 生活支援員  
 令和3年12月31日付退職

**新入職員紹介**

ようつてお願ひします

佐々木近子 看護師  
 中島里美 調理員

令和3年10月より  
 令和3年12月より



なないろ

創作活動、散歩、機織り、クッションの作成、ドライブを主に行っています。他に季節の行事や食事会をして楽しんで頂いています。(小林亜由美)



写真で振りかえるおもいで 8~2月



12月

2月

8月

10月

ユニット紹介

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

あすなる 阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

やまぶき (三浦裕之) ともものではありません。今後も引き続き利用者さんへの必要な支援を...

しゃくなげ しゃくなげユニットは、女性利用者さんが生活されている場所です。余暇時間には自然と皆...

竣工式 阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...

サポートセンターひだまり開所 令和4年1月1日「社会福祉法人ひだまりの郷あなん」は、阿南学園の移転改築に伴い、旧施設の一部を阿南町から借り受けて「サポートセンターひだまり」と改称し、施設内に通所生活介護事業所「なないろ」を開設しました。これまで運営していた「阿南町就労支援センター」「グループホーム」...

サポートセンターひだまり開所

「放課後等デイサービス」を加えた4事業所の総称事務所となりました。これに伴い1月4日、阿南町、阿南学園家族会長、地元川田区長の皆様にお越し頂いて職員、利用者さんとささやかですがセレモニーと開所式を執り行いました。「なないろ」は、食事や入浴などの日常生活上支援が必要な方たちに生活介護の場を提供する他、創作・余暇・生産活動を行う日中活動の場として利用者さんが安心して通ってきたいと思う居場所となるように職員一同頑張っていました。



新しい施設へ引っ越ししました! 施設長 熊谷 充子 昨年12月阿南学園利用者さん60名余が新施設へ引っ越しをされました。無事にこの日を迎えられるのは、阿南町をはじめ関係の皆様のご理解と尽力によるものと改めて感謝申し上げます。また、受け入れを快諾してくださった川田北川地区の皆さんからは、地区行事への参加や、桜の会の設備利用の...

放課後等デイサービス ひなたぼっこ便り 学習や、各々遊具、ゲーム、各種スポーツ等で楽しみ、ドライブで気分転換しながら仲間たちと遊び安心して過ごせる場所として日々過ごしています。(勝野清隆)

阿南町 就労支援センター

自動車部品関連受託作業を毎日取り組んでいます。指先と視力を毎日使う(鍛える)作業は、最高の老化防止運動です。利用者さんは皆、驚く程若さに溢れています。春からは農福連携による農作業が始まります。昨年の大根で作った切干大根は保育園や地元福祉施設、また東京の料亭でもご愛顧頂き、阿南の太陽を多くの皆様にお届けさせて頂きました!地域になくはない施設として、また阿南の発信拠点として、出来る事をコツコツ頑張っており、出たいと思っております。どうかよろしくお願い致します。(村山 哲)

阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま... (あすなる) 阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま... (しゃくなげ) しゃくなげユニットは、女性利用者さんが生活されている場所です。余暇時間には自然と皆... (やまぶき) ともものではありません。今後も引き続き利用者さんへの必要な支援を... (竣工式) 阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま... (ユニット紹介) 阿南学園では「共同生活が苦手」な方への支援について5年前から新たな取り組みを行ってきま...